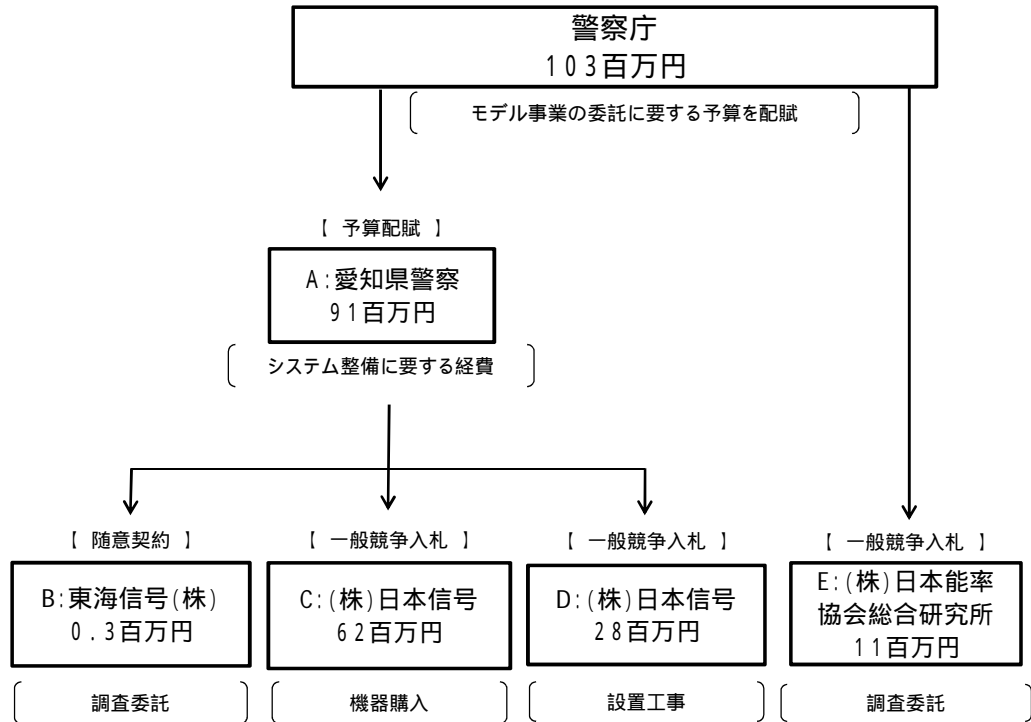


平成24年行政事業レビューシート

(警察庁)

事業名	ムーブメント信号制御方式による信号制御高度化モデル事業		担当部局庁	警察庁		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成22年度～平成24年度		担当課室	交通規制課		交通規制課長 和田 昭夫	
会計区分	一般会計		施策名	4 安全かつ快適な交通の確保			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-		関係する計画、 通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 程度以内)	交通渋滞が慢性化している路線の円滑化を図るとともに、CO2排出量の削減など環境に配慮した交通管理の推進に資すると考えられる、新たな信号制御方式であるムーブメント信号制御方式の導入の見通しを立てるため、同方式をモデル事業として実際に整備した上でその効果を検証する。						
事業概要 (5行程程度以 内。別添可)	<p>ムーブメント信号制御方式とは、流入路単位で青時間をコントロールすることにより、交通需要の少ない方向の青時間を削減し、需要の多い方向の青時間に割り当てる信号制御方式であり、無駄青時間の削減(渋滞の解消)とともに、錯綜する動線の回避(交通事故の抑止)が期待できるものである。</p> <p>本事業(平成23年度)では、平成22年度から平成24年度までの3か年計画の2年目として、平成22年度にモデル整備した8交差点について効果を検証するとともに、新たに3交差点にモデル整備を行った。</p>						
実施方法	直接実施	委託・請負	補助	負担	交付	貸付	その他
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求
		補正予算	-	0	0	0	
		繰越し等	-	0	0	0	
		計	-	286	103	7	-
	執行額	-	284	100			
	執行率(%)	-	99.3%	97.1%			
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (24年度)
	(成果目標) ムーブメント信号制御方式の設置効果測定 (成果指標) 報告書数	成果実績	報告書 数	-	0	1	1
		達成度	%	-	0	100%	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	整備交差点数	活動実績 (当初見込 み)	整備 交差点 数	-	8	3	
				(8)	(3)	()	
単位当たり コスト	391,522千円 / 1事業		算出根拠	平成24年度までの総事業費(平成22年度及び平成23年度執行額並びに平成24年度予算額)			
平成 24 ・ 25 年 度 予 算 内 訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	人件費等	7	-	事業の終了			
	計						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況		広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	慢性的に交通渋滞が発生している路線に対し、円滑化やCO2削減が期待できる新たな信号制御方式を都道府県警察が導入すべきか否かについて、同方式の開発に当たった国が、本格導入に先立ち実際にモデル整備と効果を検証するものである。
		国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
		不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途、費目		支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	調査委託(設計委託)、機器調達、設置工事及び効果測定として分離発注を行っている。また、少額の設計委託以外は一般競争入札で行っており、競争性を確保している。ただし、全国展開の検討に当たり、更なるコストの削減に努める必要がある。
		単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績		他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	交差点形状、交通量等が異なる条件の下にある交差点でモデル事業を行うことにより、本制御方式を導入する場合の交差点の選定に必要な実証的なデータを収集することができた。
		適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		類似事業名とその所管部局・府省名	
		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果		<p>1 支出先・使途の把握水準・状況 本事業については、都道府県警察に予算配賦をしており、執行状況の報告を受けていることから、支出先を把握している。</p> <p>2 見直しの余地 本事業は、安全で快適な交通環境を実現する施策を検討する上で有効なモデル事業であるので、更なるコスト削減に努めつつ、平成24年度で行う効果測定を踏まえて、全国展開を検討する必要がある。</p>	
予算監視・効率化チームの所見			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
特になし			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	-	平成23年行政事業レビュー	27



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているか
について補足
する)(単
位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.愛知県警察			E.(株)日本能率協会総合研究所		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
予算配賦	システム整備に関する費用	91	調査委託	効果測定	11
計		91	計		11
B.東海信号(株)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
調査委託	設計委託	0.3			
計		0	計		0
C.(株)日本信号			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
機器購入費	信号機等機器購入費	62			
計		62	計		0
D.(株)日本信号			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
設置工事	設置工事	28			
計		28	計		0

支出先上位10者リスト

A. 愛知県警察

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)日本信号	機器購入	62	2	
2	(株)日本信号	設置工事	28	3	
3	東海信号(株)	調査委託(設計委託)	0.3	随意契約(少額)	
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B. 警察庁

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)日本能率協会総合研究所	効果測定	11	3	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

ムーブメント信号制御方式による信号制御高度化モデル事業

・ムーブメント信号制御

流入単位に交通需要の少ない方向の無駄な青時間を削減し、需要の多い方向の青時間に割り当てる信号制御

モデル事業実施状況

実施エリアのピーク時の旅行時間が短縮。停止回数が減少。

導入年度	県名	交差点(数)
平成22年度	栃木県	4
平成22年度	滋賀県	4
平成23年度	愛知県	3

